

一般社団法人とやまミライラボ

事業報告

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

事業の経過及び成果

令和6年2月28日に公益財団法人 日本財団より、令和6年度の「海と日本プロジェクト in 富山県」および「CHANGE FOR THE BLUE in 富山」の助成内定連絡を受け、正式に4月1日より当法人による活動を開始しました。

事業名：海と日本 PROJECT in 富山県（エリア・海と日本 2024）

団体名：（一社）とやまミライラボ

助成金額：39,070,000 円 ※事業費総額：41,430,000 円

事業名：海と日本 PROJECT in 富山県（CFB・海と日本 2024）

団体名：（一社）とやまミライラボ

助成金額：32,700,000 円

また、令和6年4月9日に「深海研究スーパーキッズ育成プロジェクト in 富山湾」助成内定連絡を受け、5月1日より当該の活動を開始しました。

事業名：深海研究スーパーキッズ育成プロジェクト in 富山湾（海と日本 2024）

団体名：（一社）とやまミライラボ

助成金額：25,850,000 円

エリアでは、オリジナル教育イベント「富山湾すしレンジャー」を2024年7月25日（木）・26日（金）・27日（土）の3日間で実施しました。最終日に子供たちが作ったちぎり絵をデザインされたオリジナルラッピング電車を11月1日からおよそ2ヶ月間運行し、子供達の活動をアピールしました。また、地元教育機関との連携事業として株式会社バンダイと協力し、富山北部高校とともに「富山湾おさかなドンジャラ」を製作。これを11月下旬に県内の小学校や学童教室に配布するなどし、地元の海に関心を持ってもらう活動を行いました。その他「海動画」として、年間40本の海に関する話題を動画として制作・放送するとともに配信を行いました。

CHANGE FOR THE BLUE では、オイルフェンスを設置したがめ川のごみの種別調査を行いました。また、繁華街の散乱ごみの発生源調査を実施、富山大学の学生とオリジナル灰皿を考案し、散乱ごみ全体の70%を占めた吸い殻ごみ削減のための清掃および調査を行いました。教育現場では海洋ごみ学習用ハンドブック「きれいな海学習帳」を製作し、県内の小学4年生全員に教育委員会を通して配布しました。農業連携企画としては、ボン・リブランの協力を得て、海にやさしい肥料で栽培された富山米を材料にし

た特別パッケージの団子を制作。この他、海ごみゼロを目標に清掃活動や動画を使った啓発活動等、幅広く活動しました。

深海研究スーパーキッズ育成プロジェクト in 富山湾では、6月から基礎講座や富山高専の協力によるフィールドワークを実施、8月には2泊3日で駿河湾遠征を行い、in 駿河湾キッズとの連携学習も行い、逆に9月に富山湾に駿河湾キッズを受け入れ活動しました。秋からは個別にテーマに設け、キッズごとに研究するとともに、パワーポイントや動画編集、アナウンス等発表のための講座を行いました。2月1日には海王丸パーク内の日本海交流センターで成果発表会を実施、バラエティに富んだアウトプットの発表を行いました。最終講座と卒業式は3月1日に実施、1年の活動をまとめた1時間番組は3月22日に放送しました。

役員に関する事項

	氏名	主な職業
代表理事	稲村 修	魚津水族館アドバイザー
理事	楠井 隆史	富山県立大学名誉教授
理事	堺 勇人	一般社団法人環境市民プラットフォームとやま事務局長
監事	山本 公生	富山県商工会連合会専務委理事

(地位・職位等は令和7年3月31日現在)

以上